

世界M&A戦略株ファンド (愛称：目利き力)

運用報告書（全体版） 第3期

(決算日 2022年6月1日)
(作成対象期間 2021年12月2日～2022年6月1日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のM&A関連企業の株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年12月15日～2025年12月1日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

◇TUZ0278420220601◇

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比	純 資 産 額 総
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
1 期末(2021年 6 月 1 日)	円 11,036	円 750	% 17.9	11,995	% 20.0	% －	% 97.7	百万円 12,694
2 期末(2021年12月 1 日)	10,502	450	△ 0.8	12,793	6.7	－	95.7	10,794
3 期末(2022年 6 月 1 日)	9,822	0	△ 6.5	13,235	3.5	－	98.6	7,740

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) MSCI AC World 指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

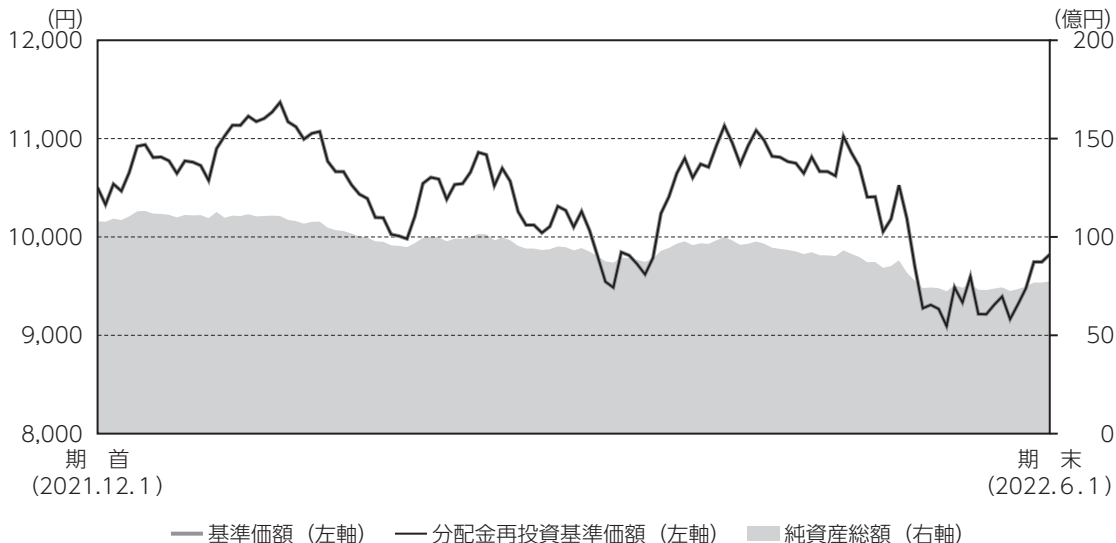
(注 5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首：10,502円

期 末：9,822円（分配金0円）

騰落率：△6.5%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

為替が円安に推移したことがプラス要因となったものの、ヘルスケアや資本財・サービスセクターにおける銘柄選択などがマイナス要因となったことから、基準価額は下落しました。

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC World指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2021年12月1日	円 10,502	% －	12,793	% －	% －	% 95.7
12月末	11,205	6.7	13,542	5.9	－	99.5
2022年 1 月末	10,213	△2.8	12,681	△0.9	－	98.7
2 月末	10,312	△1.8	12,592	△1.6	－	99.2
3 月末	10,955	4.3	13,807	7.9	－	99.1
4 月末	10,183	△3.0	13,204	3.2	－	99.1
5 月末	9,746	△7.2	13,241	3.5	－	98.6
(期末) 2022年 6 月1日	9,822	△6.5	13,235	3.5	－	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.12.2～2022.6.1)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は下落しました。

グローバル株式市況は、当作成期首から2022年1月中旬にかけて、新型コロナウイルスの新変異株であるオミクロン株に対する過度な警戒感が後退したことやFOMC（米国連邦公開市場委員会）を無難に通過したことを受け、上昇しました。2022年3月中旬にかけては、FRB（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で資源価格が急騰したことなどが懸念され、下落しました。その後は、FRBの利上げ決定で悪材料出尽くし観測が強まったことや、ロシアとウクライナによる停戦協議の進展期待もあり、反発する場面も見られましたが、世界的な景気減速懸念により5月中旬にかけて下落基調となりました。当作成期末にかけては、米国の住宅需要の減退によるインフレ鈍化期待の高まりを背景に、下落幅を縮小しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首から2022年3月上旬にかけておおむね横ばいで推移しました。その後は、米国では金融政策正常化が意識されたことから米国金利が上昇した一方で、日銀は断続的に指し値オペを行い金利上昇を抑制する姿勢を示したことから、日米の金融政策の相違が意識され、当作成期末にかけて円安米ドル高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。また、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

企業の成長戦略として積極的にM&A（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.12.2～2022.6.1)

当ファンド

当ファンドは、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

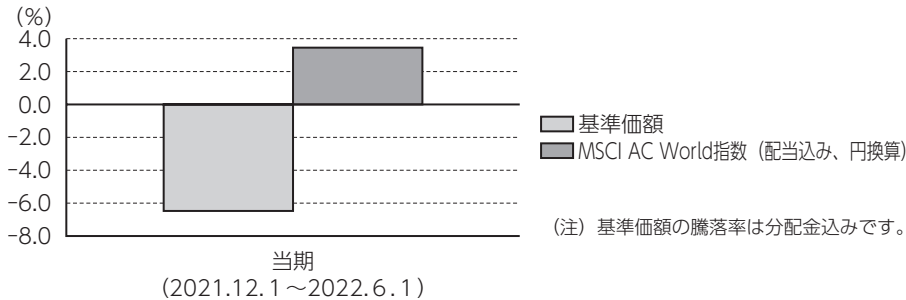
有望企業を発掘する「インキュベーター」、優良事業を有利な条件で取り込む「コングロマリット」、事業統合で成長を加速させる「オペレーター」といった3タイプの「M&A買収側企業」に注目し、卓越した目利き力でM&A（合併・買収）を成功に導く「M&A巧者」を厳選しました。銘柄別では、トウイリオ（情報技術）、オクタ（情報技術）、G F Lエンバイロメンタル（資本財・サービス）などを組み入れました。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	(円)	当 期
		2021年12月2日 ～2022年6月1日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	252

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資します。また、グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

企業の成長戦略として積極的にM&A（合併・買収）を活用する企業は、変化する社会経済情勢に素早く適応し、成長力を高めることができると考えます。卓越した目利き力でM&Aを成功に導く「M&A巧者」を厳選しつつ、バリュエーションにも注意を払った運用を継続し、長期的に優れたリターン獲得を追求します。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2021.12.2～2022.6.1)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	58円	0.562%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,396円です。
(投 信 会 社)	(17)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	59	0.566	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

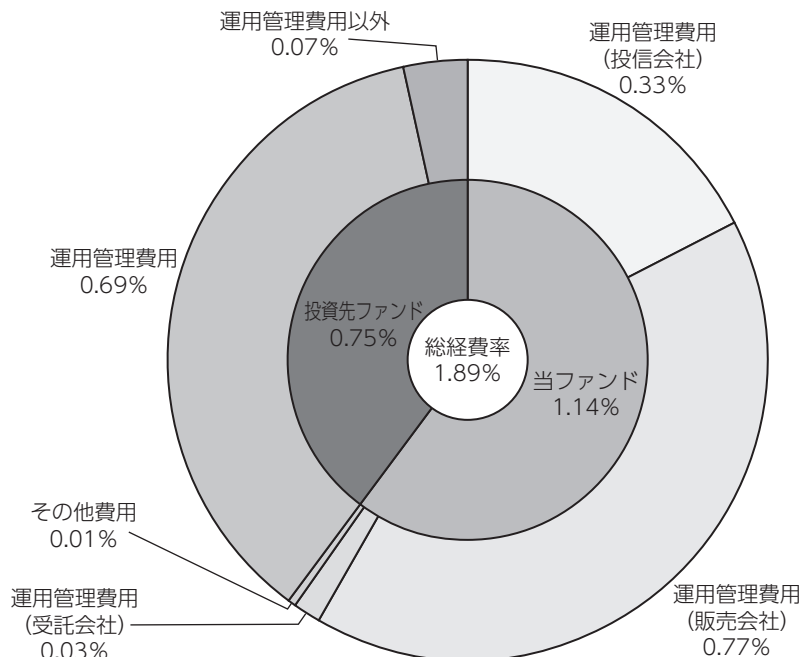
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率 (①+②+③)	1.89%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年12月2日から2022年6月1日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	33.83966	401,000	219.15536	2,633,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年12月2日から2022年6月1日まで)

当					期				
買		付			売		付		
銘	柄	□ 数	金 額	平均単価	銘	柄	□ 数	金 額	平均単価
		千□	千円	円			千□	千円	円
INCOME INVESTMENT TRUST GLOBAL CAPITAL ALLOCATORS FUND JPY UNHEDGED CLASS (ケイマン諸島)		33.83966	401,000	11,850	INCOME INVESTMENT TRUST GLOBAL CAPITAL ALLOCATORS FUND JPY UNHEDGED CLASS (ケイマン諸島)		219.15536	2,633,000	12,014

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) INCOME INVESTMENT TRUST GLOBAL CAPITAL ALLOCATORS FUND JPY UNHEDGED CLASS	千□ 683.35036	千円 7,634,390	% 98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	1,001	1,001	999

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年6月1日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	7,634,390	97.8
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	999	0.0
コール・ローン等、その他	169,217	2.2
投資信託財産総額	7,804,607	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年6月1日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,804,607,062円
コール・ローン等	169,217,342
投資信託受益証券(評価額)	7,634,390,221
ダイワ・マネーアセット・マザーファンド(評価額)	999,499
(B) 負債	64,590,127
未払解約金	10,453,600
未払信託報酬	53,743,380
その他未払費用	393,147
(C) 純資産総額(A－B)	7,740,016,935
元本	7,880,379,467
次期繰越損益金	△ 140,362,532
(D) 受益権総口数	7,880,379,467口
1万口当り基準価額(C／D)	9,822円

* 期首における元本額は10,278,409,315円、当作成期間中における追加設定元本額は308,812,662円、同解約元本額は2,706,842,510円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,822円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は140,362,532円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月2日 至2022年6月1日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,637円
受取利息	5,344
支払利息	△ 27,981
(B) 有価証券売買損益	△484,692,303
売買益	102,787,286
売買損	△587,479,589
(C) 信託報酬等	△ 54,136,527
(D) 当期損益金(A + B + C)	△538,851,467
(E) 前期繰越損益金	19,062,908
(F) 追加信託差損益金	379,426,027
(配当等相当額)	(100,653,439)
(売買損益相当額)	(278,772,588)
(G) 合計(D + E + F)	△140,362,532
次期繰越損益金(G)	△140,362,532
追加信託差損益金	379,426,027
(配当等相当額)	(100,653,439)
(売買損益相当額)	(278,772,588)
分配準備積立金	98,468,761
繰越損益金	△618,257,320

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	100,653,439
(d) 分配準備積立金	98,468,761
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	199,122,200
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	199,122,200
(h) 受益権総口数	7,880,379,467口

グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンド（世界M&A戦略株ファンド）は、ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・キャピタル・アロケーターズ・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建）に投資しております。以下の内容は、直近で入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、大和アセットマネジメントが編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表
2021年12月30日

資産	
投資資産の評価額（簿価 \$ 89,162,891）	\$ 94,589,879
未収：	
売却済みの投資	1,708,237
配当	44,472
資産合計	96,342,588
負債	
当座借越	6
未払：	
償還済み受益証券	2,300,946
運用会社報酬	155,198
専門家報酬	35,605
会計および管理会社報酬	8,110
保管会社報酬	2,838
名義書換代理人報酬	2,424
受託会社報酬	1,954
その他負債	115
負債合計	2,507,196
純資産	\$ 93,835,392
ヘッジなし・クラス	\$ 93,835,392
発行済み受益証券	
ヘッジなし・クラス	845,420
1口当り純資産額	
ヘッジなし・クラス	\$ 111

損益計算書

2021年12月30日に終了した会計期間

投資収益

配当収益（源泉徴収税（\$ 177,119）控除後）	\$	484,465
受取利息		32
投資収益合計		484,497

費用

運用会社報酬		680,885
会計および管理会社報酬		57,068
専門家報酬		36,313
保管会社報酬		26,186
名義書換代理人報酬		15,585
受託会社報酬		12,525
支払利息		140
その他費用		39,080
費用合計		867,782

投資損失

(383,285)

実現損益および評価損益

純実現損益：

証券投資		9,243,475
外国為替取引および外国為替先渡取引		1,922
純実現利益		9,245,397

評価損益の純変動：

証券投資		5,426,988
外国為替換算および外国為替先渡取引		(753)
評価損益の純変動		5,426,235

実現損益および評価損益の純変動

14,671,632

運用による純資産の増加

\$ 14,288,347

投資明細表
2021年12月30日現在

株数	証券の明細	評価額
	普通株式 (99.3%)	
	カナダ (9.2%)	
	未公開株式 (4.7%)	
73,009	Brookfield Asset Management, Inc.	\$ 4,419,235
	ソフトウェア (4.5%)	
2,252	Constellation Software, Inc.	4,170,998
	カナダ合計 (簿価 \$ 5,995,234)	8,590,233
	フランス (4.5%)	
	アパレル (4.5%)	
5,091	LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	4,210,715
	フランス合計 (簿価 \$ 3,308,239)	4,210,715
	英国 (3.8%)	
	ソフトウェア (3.8%)	
152,075	Clarivate PLC	3,587,449
	英国合計 (簿価 \$ 3,983,179)	3,587,449
	日本 (3.6%)	
	化粧品・パーソナルケア (1.6%)	
28,100	Shiseido Co., Ltd.	1,564,934
	電機 (2.0%)	
15,800	Nidec Corp.	1,854,788
	日本合計 (簿価 \$ 4,037,665)	3,419,722
	オランダ (3.8%)	
	インターネット (3.8%)	
43,775	Prosus NV	3,579,421
	オランダ合計 (簿価 \$ 4,728,584)	3,579,421
	米国 (74.4%)	
	航空宇宙・防衛 (6.7%)	
9,972	TransDigm Group, Inc.	6,326,337
	商業サービス (8.4%)	
5,304	S&P Global, Inc.	2,495,426
38,107	WEX, Inc.	5,389,854
		7,885,280
	総合金融サービス (5.3%)	
36,111	Intercontinental Exchange, Inc.	4,939,263

株数	証券の明細	評価額
	電機 (5.7%)	
61,674	Amphenol Corp. Class A	5,366,872
	ヘルスケア製品 (8.0%)	
6,788	Danaher Corp.	2,229,654
19,615	Stryker Corp.	5,309,584
		7,539,238
	ヘルスケアサービス (5.9%)	
4,697	Charles River Laboratories International, Inc.	1,765,508
162,977	Sotera Health Co.	3,792,475
		5,557,983
	保険 (5.3%)	
16,449	Berkshire Hathaway, Inc. Class B	4,934,371
	インターネット (7.0%)	
42,319	IAC/InterActiveCorp	5,629,697
50,548	Vimeo, Inc.	902,787
		6,532,484
	メディア (2.0%)	
12,018	Walt Disney Co.	1,873,967
	不動産 (2.6%)	
22,504	CBRE Group, Inc. Class A	2,441,909
	ソフトウェア (12.7%)	
9,194	Roper Technologies, Inc.	4,497,337
39,659	SS&C Technologies Holdings, Inc.	3,260,763
15,614	Twilio, Inc. Class A	4,143,175
		11,901,275
	通信 (4.8%)	
38,879	T-Mobile US, Inc.	4,529,792
	米国合計 (簿価 \$ 65,736,422)	69,828,771
	普通株合計 (簿価 \$ 87,789,323)	93,216,311

世界M&A戦略株ファンド

元本		証券の明細	純資産に 対する比率 (%)	評価額
		短期投資 (1.5%)		
		定期預金 (1.5%)		
		カナダ (0.0%) *		
CAD	8,787	Bank of Nova Scotia 0.00%** due 12/31/2021		\$ 6,870
		カナダ合計 (簿価 \$ 6,870)		6,870
		日本 (0.1%)		
EUR	50,838	Sumitomo Mitsui Banking Corp. -0.97% due 12/31/2021		57,600
JPY	2,949,030	MUFG Bank Ltd. -0.34% due 01/04/2022		25,606
		日本合計 (簿価 \$ 83,206)		83,206
		米国 (1.4%)		
USD	1,283,492	JPMorgan Chase & Co. 0.00%** due 12/31/2021		1,283,492
		米国合計 (簿価 \$ 1,283,492)		1,283,492
		定期預金合計 (簿価 \$ 1,373,568)		1,373,568
		短期投資合計 (簿価 \$ 1,373,568)		1,373,568
		投資総額 (簿価 \$ 89,162,891)	100.8%	\$ 94,589,879
		現金および他の資産を超過する負債	(0.8)%	(754,487)
		純資産	100.0%	93,835,392

* 0.05%未満の場合があります。
* * 0.005%未満の場合があります。

通貨の略称	
CAD	カナダ・ドル
EUR	ユーロ
JPY	日本円
USD	米ドル

<補足情報>

当ファンド（世界M&A戦略株ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年6月1日）現在におけるダイワ・マネーアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年12月2日～2022年6月1日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年6月1日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

運用報告書 第10期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

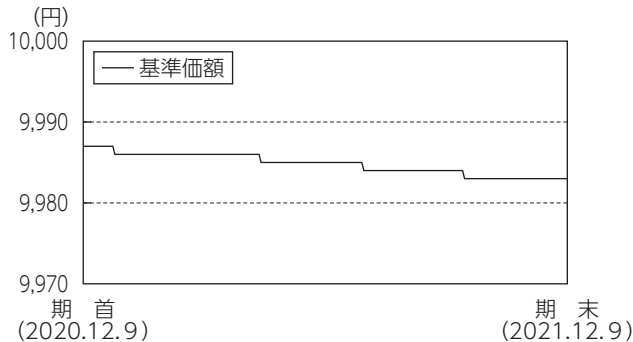
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		公 社 債 組 入 比 率
		円	%	
(期首)2020年12月9日	9,987	円	%	—
12月末	9,987	0.0	—	—
2021年1月末	9,986	△0.0	—	—
2月末	9,986	△0.0	—	—
3月末	9,986	△0.0	—	—
4月末	9,985	△0.0	—	—
5月末	9,985	△0.0	—	—
6月末	9,985	△0.0	—	—
7月末	9,984	△0.0	—	—
8月末	9,984	△0.0	—	—
9月末	9,983	△0.0	—	—
10月末	9,983	△0.0	—	—
11月末	9,983	△0.0	—	—
(期末)2021年12月9日	9,983	△0.0	—	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,987円 期末：9,983円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	602,175	100.0
投資信託財産総額	602,175	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	602,175,326円
コール・ローン等	602,175,326
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	602,175,326
元本	603,229,011
次期繰越損益金	△ 1,053,685
(D) 受益権総口数	603,229,011口
1万口当り基準価額(C／D)	9,983円

* 期首における元本額は563,730,093円、当作成期間中における追加設定元本額は181,060,125円、同解約元本額は141,561,207円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジあり） 999円

ダイワ債券コア戦略ファンド（為替ヘッジなし） 999円

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（毎月分配型） 219,583円

通貨選択型ダイワ米国株主還元株αクワトロプレミアム（年2回決算型） 24,953円

ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（毎月分配型） 848,389円

ダイワ米国株主還元株ツインαプレミアム（年2回決算型） 66,873円

ダイワ米国株主還元株ファンド 36,730,213円

ダイワD Bモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジあり） 6,592,748円

ダイワD Bモメンタム戦略ファンド（為替ヘッジなし） 10,288,683円

ダイワ/パリュウ・パートナーズ・チャイナ・イノベーター・ファンド 10,000円

世界M&A戦略株ファンド 1,001,302円

ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（年1回決算型） 487円

ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（年1回決算型） 4,995円

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α50コース 49,911円

ダイワ・ブラジル・リアル債α（毎月分配型）－スーパー・ハイインカム－ α100コース 49,911円

S & P 500（マルチアイ搭載） 60,069,073円

ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ 4,473,311円

ダイワ円債セレクト マネーコース 479,794,114円

ダイワ・スイス高配当株ツインα（毎月分配型） 2,996,106円

ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジあり（毎月分配型） 1,235円

ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 為替ヘッジなし（毎月分配型） 1,598円

通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 日本円コース（毎月分配型） 1,544円

通貨選択型 ダイワ/NB・米国債券戦略ファンド 通貨セレクトコース（毎月分配型） 1,984円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,983円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,053,685円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 273,658円
受取利息	5,799
支払利息	△ 279,457
(B) その他費用	△ 1,940
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 275,598
(D) 前期繰越損益金	△ 746,310
(E) 解約差損益金	234,610
(F) 追加信託差損益金	△ 266,387
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	△1,053,685
次期繰越損益金(G)	△1,053,685

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。